



## 節電を機会に

# 地球温暖化について考えよう



暑い夏を快適に過ごすのに欠かせないエアコン。その他、私たちの暮らしを豊かにしてくれる電化製品は、当然、電気の供給がなくては動きません。そして、今年の夏は、困ったことにその電気（電力）が不足するといわれています。これを機会に、節電をとおして私たちの暮らしと環境について考え直してみませんか。

実際にどのくらいの電力が不足するのでしょうか？ 現在、東京電力㈱が供給できる最大電力は約 6,000 万 kW といわれています。同社の予測によると、今年の夏、電力が不足する日が約 8 日あるそうです。

当然、電力不足になると、私たちの生活に支障が生じてきます。意外なことに、多くのマンションやビルでは、水道水を一旦屋上に溜めるときに電気を使っているため、水も使えなくなってしまいます。まさに、電気はライフライン（命綱）なのです。

電気を節約することは、実は同時に地球温暖化防止に貢献することにもなります。地球温暖化は二酸化炭素（CO<sub>2</sub>）等の温室効果ガスにより気温が上昇し、地球環境に悪影響が生じる現象です。

1 kWh の電力量を作るときに排出される CO<sub>2</sub> の量を CO<sub>2</sub> 排出原単位といいます。2001 年度の CO<sub>2</sub> 排出原単位は 0.317kg-CO<sub>2</sub>/kWh でした。この数字をもとに、普段私たちが出来る節電が、どのくらい CO<sub>2</sub> 削減に貢献するのか計算してみましょう。

表は、生活にあまり支障をきたさないよう

な節電行動と、その効果の一例です。これらを 1 か月間行くと、1 家庭あたり 14.8kg、日本全国では約 70 万 t の CO<sub>2</sub> を削減することが出来ます。これは、私たちの生活（民生部門）から排出される CO<sub>2</sub>（日本全国で約 2600 万 t / 月）の約 2.7% に相当します。

表．1 家庭あたりの 1 か月の節電効果

節電行動（夏季）	節電効果（kWh）	CO <sub>2</sub> 削減量（kg）
エアコンの温度を 1 上げる	4	1.2
エアコンの運転を 1 時間短縮する	8	2.5
家電製品のプラグを コンセントから抜く	14	4.4
便座の蓋を閉めて 設定温度を下げる	21	6.7

電力不足を解消し、地球温暖化防止に協力し、しかも家計も助かる節電に皆さんも挑戦してみましょう。

電力不足の夏は、今年だけかもしれませんが。しかし、地球温暖化の問題は、私たちが CO<sub>2</sub> を排出しつづける限り終わらないテーマです。そして、その地球温暖化でさえも、わたしたちが数多く抱える環境問題の一部に過ぎないことを忘れないでください。

今年の夏は、ちょっとエアコンを止めて窓をあけ、星空を見ながら、地球環境の未来についてもう一度考えてみませんか。

（環境科学部）

電力供給量・予想電力需要・CO<sub>2</sub> 排出原単位は東京電力㈱、節電行動と節電効果は経済産業省、CO<sub>2</sub> 排出量は環境省のデータを参考にしました。